

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.Y	学部・学科	国際教養学部 都市学系
学年	3年	派遣国	ハンガリー
派遣大学	エトヴェシュ・ローランド大学		
期間	令和4年 9月 1日～ 令和5年 7月 31日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○(冷房×)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (3万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(電車乗り継ぎ) で、約 (40) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	2万円	
学用品購入費	ほぼなし	教科書等
交通費	約1500円	学生定期
交際費	3万円	外食等
その他	円	
合計	約5万円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は概ね良い

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研 災付帯 海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(11万) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (ブダペスト)
ハンガリーの首都
路面電車(トラム)、地下鉄、バスなどの交通機関が充実
学生は学生定期を持っているとそれらの交通機関を利用し放題だが、チケット検査員が定期的に巡回に来るので 1)定期券が必ず期限以内であること、2)学生証を持参していることは必須(さもないと高額の前金が取られる)
ほとんどのお店はカード利用ができるが、たまに現金のみのお店もあるので事前確認しておくこと
海外はスリなどの犯罪が多いと聞いていたが、ハンガリーはかなり治安がいいと感じる
夜遅くでも普通に出歩ける(出歩かないにこしたことはない)
さまざまな人種の方がいて多国籍

【学業編】

1. 大学情報

大学	エトヴェシュ・ローランド大学	所在地	ブダペスト
最寄空港	リスト・フィレンツェ空港	空港からの距離	約1時間
空港⇄大学	(バス) *移動手段		
学生数	約28000人	留学生数	約3000人
学部	経済学部 教育心理学部 人文学部 情報学部 法学部 初等教育学部 理学部 社会科学部 特別支援教育学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	経済学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール ※固定の時間割がないので記入不可能

① ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

② ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

3. 履修内容

科目	Introduction to Management		
履修期間	秋学期	単位数	6
授業内容／形態	会社という組織において、リーダー・管理職・部下それぞれの行動や仕事での立ち回りの特徴を理解する。組織構造と文化、さらに経営理論的な知識を身につける。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Community and Individual		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	社会における個人の行動の変化、さらにその仕組みについて学ぶ。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Sociology and the Study of Modern Societies		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	社会学とは何かについて、その歴史の変遷とともに学ぶ。		
成績	Satisfactory		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Leadership and Organizational Studies		
履修期間	秋学期	単位数	6
授業内容／形態	実際に企業の方を講師に招き、事業開発の実践的な手法を学ぶ。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	General Hungarian		
履修期間	秋学期	単位数	6
授業内容／形態	主に文法や日常で使える表現を学ぶ（レベルによって異なる）。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Fundamentals of Human Resource Management		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	職場における HRM (Human Resource Management) の基本的な仕組みや方法を学ぶ。これらを学ぶことで組織内での人材の管理方法についての実践的な知識、スキルの習得を目指す。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Negotiation		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	交渉を成功させるための基本的背景（交渉の戦略と心理学的な観点）や交渉構造のモデルを学ぶ。講義内では実際にグループワークを通じて学生の交渉力を向上させることを目指す。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to Cultural Anthropology		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	文化人類学の定義や具体的なアプローチ方法、および理論を理解することを目的としている。また講義を通じて異文化に対する感受性を養うことで、世界の文化の多様性を認識し、それらを理解することを目指す。		
成績	Excellent		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Persuasion		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	説得力のあるコミュニケーションについて理解し、それを習得することを目的としている。説得に用いられる古典的および現代的なツールに焦点を当て、その技法や言葉遣い、日常生活における応用の仕方などを学ぶ。		
成績	Good		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	S	学部・学科	国際教養学部
学 年	3	派遣国	ハンガリー
派遣大学	エトヴェシュ・ローランド大学		
期 間	令和4年 9月 1日～ 令和5年 7月 31日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Introduction to Management
講義内容	会社という組織において、リーダー・管理職・部下それぞれの行動や仕事での立ち回りの特徴を理解する。組織構造と文化、さらに経営理論的な知識を身につける。
科目	Community and Individual
講義内容	社会における個人の行動の変化、さらにその仕組みについて学ぶ。
科目	Sociology and the Study of Modern Societies
講義内容	社会学とは何かについて、その歴史の変遷とともに学ぶ。
科目	Leadership and Organizational Studies
講義内容	実際に企業の方を講師に招き、事業開発の実践的な手法を学ぶ。
科目	Fundamentals of Human Resource Management
講義内容	職場における HRM (Human Resource Management) の基本的な仕組みや方法を学ぶ。これらを学ぶことで組織内での人材の管理方法についての実践的な知識、スキルの習得を目指す。
科目	Negotiation (3 単位)
講義内容	交渉を成功させるための基本的背景 (交渉の戦略と心理学的な観点) や交渉構造のモデルを学ぶ。講義内では実際にグループワークを通じて学生の交渉力を向上させることを目指す。
科目	Introduction to Cultural Anthropology

講義内容	文化人類学の定義や具体的なアプローチ方法、および理論を理解することを目的としている。また講義を通じて異文化に対する感受性を養うことで、世界の文化の多様性を認識し、それらを理解することを目指す。
科目	Persuasion
講義内容	説得力のあるコミュニケーションについて理解し、それを習得することを目的としている。説得に用いられる古典的および現代的なツールに焦点を当て、その技法や言葉遣い、日常生活における応用の仕方などを学ぶ。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

この一年は間違いなくこれまでの私の人生で一番出会いと別れを経験した年でした。それを踏まえて思うのは、関わったどの人からも何かしらの学びを得られるということです。寮で出会い、異なる価値観のすり合わせの難しさを教えてくれた前のルームメイト、そして人生の友達とも言える仲になった次のルームメイトはもちろん、授業で出会って仲良くなり来年日本に遊びにきてくれる友だち、そして電車での一度きりの出会いまで、全ての人たちから学ぶことができた一年でした。そして気づいたのは無駄な出会いはひとつもないということです。その出会いが自分にとっていいものだろうと悪いものだろうと、そこから必ず何かしらの学びが得られ、人間的に成長できます。それらの小さな学びをしっかりと掬い取って、自分の中に吸収する姿勢はこれからも忘れないでいたいと思います。

また、今回の留学の主要な目標の一つに「様々な価値観に触れ、人として成長する」というものがありました。実際に留学から戻ってきて感じたのは、自分とは全く違う文化的背景や考え方を持つ人たちと出会って、異なる価値観や物の見方に対する受容力が上がったということです。新しい人と出会うことは自分の中に新しい引き出しが増えることを意味します。同じ価値観を持つ人は誰一人としていないため、人と関わるたびに自分にはなかった新しい考え方を学ぶことができるのです。そしてそれを自分の中に落とし込んでいく際(自分の価値観とすり合わせを行う際)に、自分にはなかったその価値観を自分のものにしたら人間的に成長できます。たとえ自分とは合わないと感じても、「そういう考え方もあるのだな」と新しい価値観への知識を持つことによってまた一つ成長することができます。このように留学生活を通じて自分とは異なる考え方を受け入れることの有意義さに改めて気づきました。その上で、自分を軸とした物の見方だけではなく「(自分とは違う価値観を持った)あの人はこう思うかもしれない」と物事を相手の立場に立って考えることができるようになりました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

これからも日々の中から学ぶ姿勢は変わらず持ち続けたいと思います。その上で人と出会うことの楽しさや有意義さに気づくことができたので今後もたくさんの人と出会い、その人たちとの関わりと通じて人間的に成長し続けたいと思います。

また今後も自分の知らない世界を見ていきたいと思っています。この一年を通じて新しいことにチャレンジすることのハードルがかなり下がりました。そのためこの勢いをそのままに、自分の知らない新しい世界を見ていきたいと考えています。海外旅行などを通じて訪れたことのない国を訪ねてみることはもちろん、自分が知らない新しい文化やコミュニティも体験したいです。

また引き続き英語での会話力を下げることなく、むしろ伸ばせたらと考えています。友人との日常会話で磨いた会話力を落とさないために、英語の番組をみたりTEDを見たりして努力していきます。留学前の目標の一つが「英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ」だったので、今後は「英語で暮らす」ことを新たな目標に将来設計をしていこうと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

自分のやりたいことをやる前から諦めずにまずはやってみることが大切だと思います。「やらぬ後悔よりやる後悔」という言葉がありますが、本当にその通りです。やらなかったら見えなかった世界がやった後にはあります。たとえ失敗してしまったとしても、自分次第でそれは学びに変わります。やる前はとてつもなく高い壁に感じて、やってみたら意外とできてしまって、高く見えていた壁が実はなんてこともなかったということも多々あります。そのため何事も諦めずにまずはチャレンジしてみてください。

あとは我慢せず主張してください。留学している最中、新しい環境、違う人との関わりの中で何かしら自分が違和感を持ったりすることもあると思います。ただそこで我慢することはしないでください。自分が思ったことははっきりと主張した方がいいです。日本人は他人の気持ちを汲んで話したり行動したりすることを良しとしています。海外ではそれは通用しません。海外の方は(その人の性格にもよりますが)自分の思ったことははっきり主張しますし、他人にもそれを求めています。実際私は「主張したら相手を傷つけてしまうかもしれない」と自分の気持ちを言うことを避けていたことがありましたが、相手の方に「もっと先に言って欲しかった」と言われたことがありました。しっかりと主張することはお互いのその後の関係、そして何より自分の精神衛生上必要なことです。「主張する勇気」を持つことを忘れずに楽しい留学生生活を過ごしてください。